

小論文

令和

八年度

編入学試験問題用紙

一般選考

第二次

比較文化学部 比較文化学科

下の文化のとらえ方について論じた朴沙羅氏の文章
〔朝日新聞〕二〇一三年一〇月二二日朝刊をよく読み、
次の設問の答えをそれぞれの解答欄に書きなさい。

問

筆者は、「いまの振り袖や訪問着のような着物をも
って『伝統』と言おうものなら、服飾史学者にため
息をつかれるだろう」と述べていますが、それはな
ぜですか。筆者の意見を参考にしながら一〇〇字
以内で説明しなさい。

問

筆者は、『菊と刀』の著者ルース・ベネディクトの
「われわれがものを見るときに必ずそれを通して
する眼球を意識することは困難である」という言
葉を引用していますが、なぜ私たちは「眼球を意識
することが困難」なのでしょう。また「眼球を意識
する」という方法は、文化について考えうるうえで、
どのような有効性を持つのでしょうか。筆者の意
見を参考にしながら、あなたの考えを四〇〇字以
内で書きなさい。

問

筆者は、『日本』『日本人』『日本文化』の中に、あ
る時は無理やりに入れられ、ある時は無理やり
そこから追い出される「人々の存在について触れ
ていますが、それはどのような人々でしょうか。あ
なたが考えるそのような人々の例をあげ、なぜそ
のように言うことができるのか、二〇〇字以内で
説明しなさい。

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。